

# NISSHA EARTH BOY

アースボーイシリーズ テレスコプーム式アースドリル ED6200H-2

最大掘削深度 軸掘バケット：58m(フレーム下方位置)



超低騒音型



少数特別基準

ますます難度化する都市部狭隘地施工への救世主。  
分解・組立を容易化させ、  
コンパクトでありながら高い掘削性能を持つ、

# テレスコブーム式アース 「ED6200H-2」登場。

日車アースボーイシリーズの主力モデル「ED6200H-2」に  
フロントブームをテレスコ方式としたタイプ  
<通称:ED6200H-2(T)>を新たにラインナップ。

## 施工能力



### ■5段ケリーバ

搬送性の良い5段式の14mケリーバを装備し、最大掘削深度は58mとしています。また、大型アースドリルED8200Hやロングクローラ式アースドリルED6200H-2<通称:ED6200H-2(L)>と、ケリーバ外径を共通化させています。

### ■ケレイドライブ

バケットの回転トルクは高トルク時: 118kN・m(12.0tf・m)を発揮します。

### ●高圧型ロータリカップリング

20.6MPaに対応した高性能ロータリカップリングを装備しました。

### ●流量計

ロータリテーブル上に流量計を設置して、拡底バケットの開閉量を確実に検出します。

### ■補助吊り能力

補巻ドラム(補助吊り)ロープ径はφ30mm。



### 最大吊り能力

- 1本掛け時:  
17ton×7.3m(ケリーバ付ケレイドライブ付)
- 2本掛け時:  
28ton×6.0m(ケリーバ無ケレイドライブ付)

●能力の詳細については定格総荷重表をご参照ください。

### ■拡底バケット

搭載可能な拡底バケットは以下のとおりです。

- 標準径シリーズ: BK10-II~BK-20, BK-23  
(条件付)
- 2倍径シリーズ: BK10-III~BK16-III



NIPPON SHARYO EARTH BOY SERIES

ED6200H-2



# ドリル



# テレスコブーム式アースドリル ED6200H<sub>2</sub> 充実の機能と装備

## ■折り曲げ式ガントリー (特許取得)

ガントリーの構造を折り曲げ式とすることにより、電線等の上空制限のある施工環境においてもブームを倒伏しての場内移動が可能です。



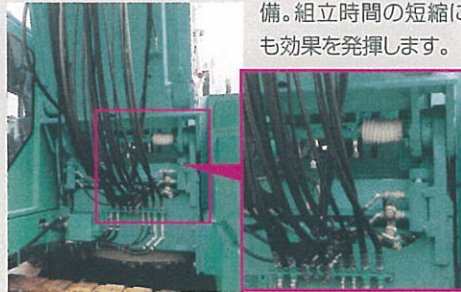
## ■サードドラム (オプション)

作業用途に見合った機能として、サードドラムの追加装備が可能です。サードドラムロープ径はφ20mm。最大吊り能力 1本掛け時:6ton×9.0m



## ■ブーム組付用シリンダ

従来より装備のフットピン用シリンダに加え、ブームの組付けを容易にするアジャストシリンダを標準装備。組立時間の短縮にも効果を発揮します。



## 機体のコンパクト化と高い掘削性能

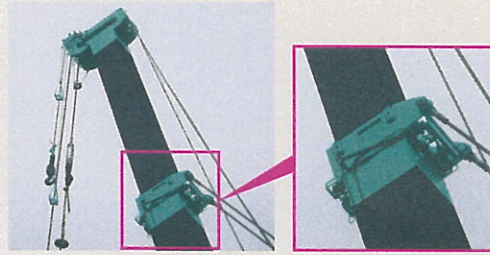
- カウンタウェイトの後端寸法を短縮することにより、コンパクトな機体としました。
  - テレスコ式ブームの支持方式としてガントリー式を採用。ブーム位置が前側となるため、懐スペースが広くなり、大型ウィンチを搭載可能としたことにより、大型バケットでの施工を実現しました。
- ますます難度化する都市部狭隘地での施工に追従できます。





### ■テレスコ式ブーム

新開発の3段式箱型断面テレスコブームは、ブーム最長時に4本のブームロック機構にて固定され、伸縮シリンダのリークによるブーム全体の縮みを防止します。

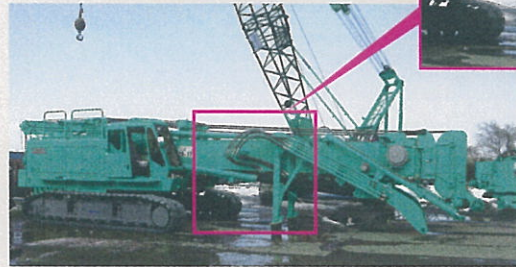


### ■ブーム支持方式

テレスコ式ブームの支持方式を油圧シリンダ式ではなく、ガントリを介して起伏を行う方式としたことにより、煩雑な油圧系統の組付作業は不要となり、油漏れの心配もありません。

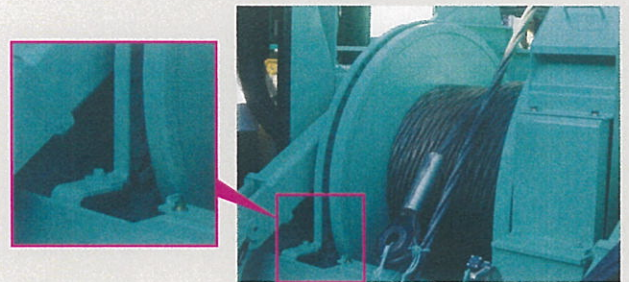
### ■ブームサポート

ブーム倒伏時(休車時)にペンダントロープや起伏ワイヤロープの張力を緩めることにより、各ロープの寿命が長くなります。



### ■主巻ドラム

主巻ロープ径はφ28mm。掘削深度管理を主巻ドラムフランジに設けたフィンから検知することにより精度が向上します。



### ■ハウス上部手摺 (オプション)

本体上での作業時転落防止と物品落下防止用に、ハウス上に巾木付の手摺を設けます。

### ■カウンタウェイト・セルフローディング

ガントリ起伏シリンダとカウンタウェイト吊り込みシリンダにより、自身によるカウンタウェイトの自力脱着が可能です。(但しベースウェイトは除く)ハウス右側扉内のリモコンにより操作。

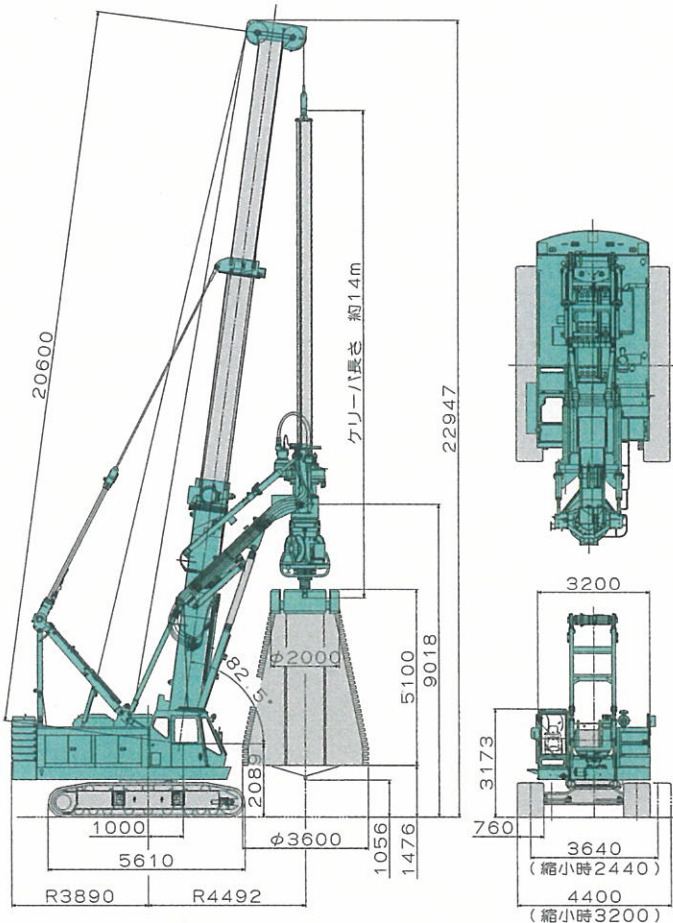


## ■ 本体仕様

ブーム長さ		20.6m
最大掘削深度 (軸掘りバケット使用)	フレーム上方位置	54m
	フレーム下方位置	58m
バケット 回転トルク	高トルク時(正転/逆転)	108/118kN・m(11/12tf・m)
	低トルク時(正転/逆転)	59/59kN・m(6/6tf・m)
ケリーバ押し下げストローク		700mm
ロープ径	主巻(バケット)	φ28
	補巻(補助吊り)	φ30
最大補助吊能力(定格)		17tf×7.3m(1本掛け時)
		28tf×6.0m(2本掛け時)
作業 速度	バケット回転数(高/低)	*18/9min <sup>-1</sup>
	主巻(バケット)巻上・巻下	*45/26m/min
	補巻(補助吊り)巻上・巻下	*45/26m/min
	ブーム巻上・巻下	*53m/min
	旋 回	*2.8min <sup>-1</sup>
走行速度(1速/2速)		*1.4km/Hr
輸送時登坂能力		40%
エンジン型式		日野J08C-UD(オフロード法少数特例)
定格出力		182kW(247PS)/2100min <sup>-1</sup>
全装備質量(バケット無し)		約88t
平均接地圧		120kPa(1.22kgf/cm <sup>2</sup> )

\*印は、負荷により変化します

## ■ 本体外観図



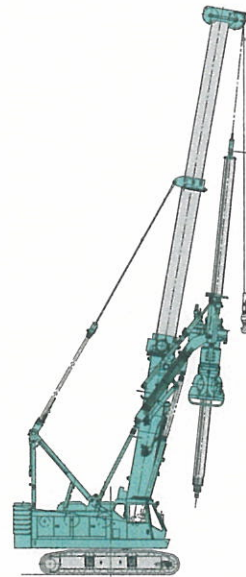
● 図は掘底バケットBK20を装着

## ■ クレーン定格総荷重表(オプション)

### 注意事項

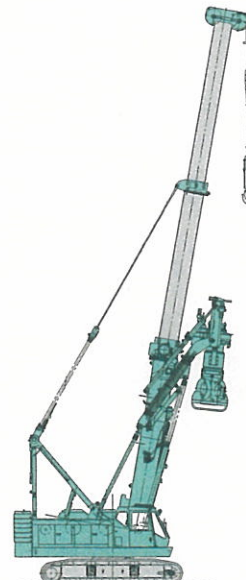
1. 定格総荷重は水平堅土における値で、転倒荷重の78%以内及び、移動式クレーン構造規格に定める前方安定度1.15以上です。
2. 定格総荷重表以外の範囲では作業を行わないで下さい。
3. 1本掛けクレーン作業は、必ずバケットを取外して下さい。フレーム調整シリンダをフリーにして、フレーム起伏シリンダを最長まで伸ばし、次にフレーム調整シリンダを固定して、ケリーバ下端をテーブル下端より4m下げた状態で行なって下さい。2本掛けクレーン作業は、必ずバケット及びケリーバを取外して下さい。
4. フレーム調整シリンダを最長まで伸ばした後、フレーム起伏シリンダを最長まで伸ばした状態で行なって下さい。
5. クレーン作業時はケリードライブを一番下まで下げた状態で行って下さい。(フックとケリードライブが干渉します。)
6. クレーン作業はブームアップ、ミドルのロックピンを入れた状態で行って下さい。
7. ロータリテーブルは、必ず横長方向でロック状態にし、回転させないで下さい。(テーブルが起伏シリンダに干渉します)
8. ロータリテーブルを取り外した場合は、下記定格総荷重の値に0.4t足した値になります。但し1本掛けの場合は最大値17t以上、2本掛けの場合は最大値28tを超えない値になります。
9. ロープ掛数に対する最大巻上荷重とフック質量は以下の通りです。

フック容量	フック重量	定格総荷重の最大値(ton)	
		2本掛	1本掛
28ton	480kg	28	17
15ton	140kg		



### ● 1本掛け定格総荷重表

作業半径(m)	ブーム長(°)	定格総荷重(ton)
5.4	80.0	17.0
6.0	78.2	17.0
7.0	75.4	17.0
7.3	74.5	17.0
8.0	72.4	14.5
9.0	69.5	11.3
10.0	66.4	8.6
11.0	63.3	6.4
12.0	60.1	4.7
13.0	56.8	3.3
14.0	53.4	2.1



### ● 2本掛け定格総荷重表

作業半径(m)	ブーム長(°)	定格総荷重(ton)
5.4	80.0	28.0
6.0	78.2	28.0
7.0	75.4	21.2
8.0	72.4	16.7
9.0	69.5	13.4
10.0	66.4	11.0
11.0	63.3	9.0
12.0	60.1	7.2
13.0	56.8	5.7
14.0	53.4	4.5
15.1	49.7	3.5
16.0	45.9	2.6



■概略分解寸法及び質量

主要部品名		質量(t)	寸法(m)長×幅×高	備考
本 体	本 体	36.00	7.32×3.20×3.39	
	本体(サイドフレーム無)	25.00	6.92×3.20×3.03	
	サイドフレーム	5.50	5.61×0.97×0.98	2個
	カウンタウェイト(最上部)	2.70	3.20×0.71×0.35	1個
	カウンタウェイト(中間部①)	2.50	3.20×0.71×0.47	1個
	カウンタウェイト(中間部②)	2.50	3.20×0.71×0.35	2個
	カウンタウェイト(中間部③)	2.50	3.20×0.71×0.47	2個
カウンタウェイト(最下部)	6.00	3.20×0.79×1.38	1個	
フ ロ ン ト	ブーム	16.50	9.07×2.28×2.66	フロントフレーム、アップロッド、起伏シリンダ、調整シリンダ、ペンダントロープ含む
	ケリードライブ	6.30	3.78×2.29×1.84	ロータリーカップリング含む
	ロータリーテーブル	1.50	2.13×1.44×1.42	
	ケリーバ	5.80	φ0.53×14.00	
	ブームバックストップ	0.10	φ0.19× 3.03	2本
	28tフック	0.48	1.73×0.77×0.33	
	17tフック	0.14	1.60×0.29×0.20	スイベル含む

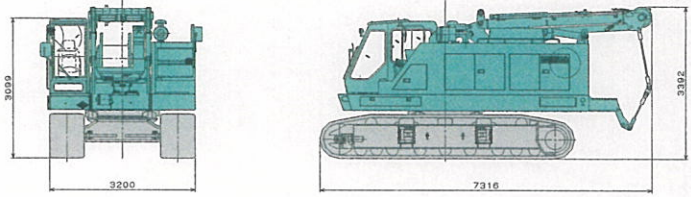
上表は本機を輸送する際の分解質量の一例です。  
本機をトレー等で輸送する場合は関係官庁の通行許可が必要となります。  
また、輸送時の寸法・質量については関係法規に従い、ご確認の上輸送してください。

■最大掘削深度

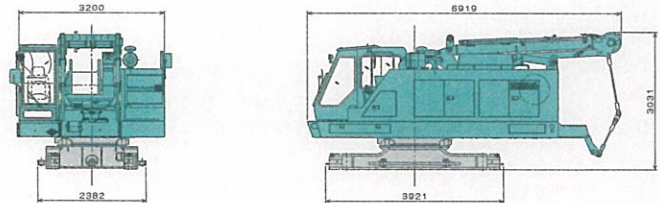
14mケリーバ仕様時



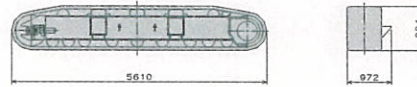
(1) 本体 36.0t



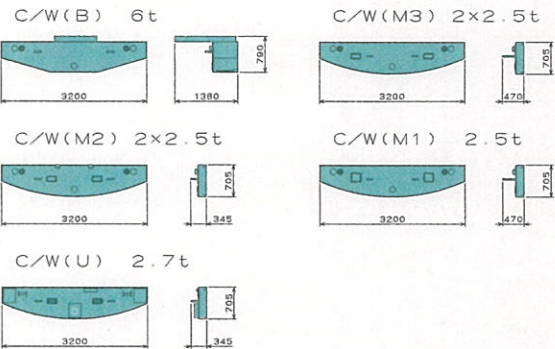
(1-1) 本体(サイドフレーム 無) 25.0t



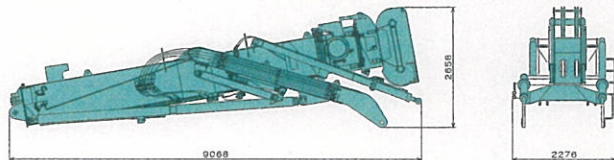
(1-2) サイドフレーム 5.5t x2



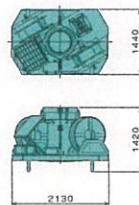
(2) カウンタウェイト



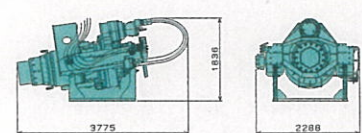
(3) ブーム(フロントフレーム+アップロッド+起伏シリンダ+調整シリンダ+ペンダントロープ含む) 16.5t



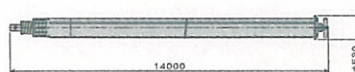
(4) ロータリテーブル 1.5t



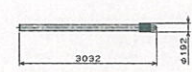
(5) ケリードライブ(ロータリカップリング 含) 6.3t



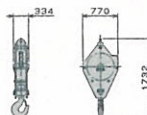
(6) ケリーバ 5.8t



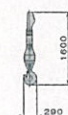
(7) ブームバックストップ 0.1t x2



(8) 28t補助フック(オプション) 0.48t



(9) 17t補助フック 0.14t





## 標準装備品

- 本体関係
- 微速コントロール
- 前照灯
- 昇降ステップ(足廻り、キャブ)
- サイドミラー
- ガントリーシーブ給脂配管
- ケリーフレーム給脂配管
- 電動式燃料ポンプ
- エアコン
- 時計付AM / FMラジオ
- 前面窓間欠ワイパー
- 前面下窓及び天窓ワイパー
- ウインドウォッシャー(前面窓)
- グリップアックスル
- ブロンズガラス
- フロアマット
- フットレスト
- シガレットライター
- 灰皿
- 水準器
- カウンタウエイセルフローディング
- 標準付属工具
- 標準予備品

## ■安全装置

- 旋回ロック
- 旋回警報(ブザー、フラッシュ)
- ブレーキ掛け忘れアラーム
- 電動式ドラムロック(主巻、補巻、ブーム)
- エンジン停止時自動ブレーキ
- OKモニタ
- ブレーキペダルカバー(レバーと同色)
- ゲートロック
- フリーフォールインターロック
- フリーフォール表示灯
- 中立時ネガブレーキ
- キー式解除スイッチ
- 操作レバーロック
- ハウス上面、ブーム上面ノンスリップシート

## ■フロント関係

- テレスコプ式ブーム20.6m
- 14m×5段ケリーバ
- ブームバックストップ(シリンド付)
- ケリーロープ(φ28)
- ブーム起伏ロープ(φ16)
- ブーム角度計
- ブーム過巻防止装置
- ブーム第2過巻防止装置
- ブームサポート
- ブームロックピン
- フットピン脱着シリンド
- ブームアジャストシリンド

## オプション装備品

- 本体関係
- ラダー(本体後端右側取付)
- 運転室側アンダーカバー
- サイドステップ(ハウス全周)
- 天窓ガード
- ハウス上手摺
- N150型バッテリー(寒冷地用)
- ツールボックス
- ドラムミラー
- ドラムライト
- 強力ヒーター(寒冷地用)
- サンバイザー
- マイク&スピーカ
- サイドフレーム分解治具

## ■安全装置

- クレーン検査
- つり上げ荷重17ton
- つり上げ荷重28ton
- 過負荷防止装置
- M / L外部表示灯(3色)
- 旋回音声警報
- ドラムロック検出表示灯
- カメラ&センサ(後方監視用)
- 親綱ボール

## ■フロント関係

- 拡底工法用改造
- 施工管理装置
- ロータリーテーブル
- ホースガイド
- バケット用アダプタ
- 17tonフック(スィベルジョイント付、1本掛け)
- 28tonフック(2本掛け)
- 補巻ロープ(φ30)
- サードドラム(φ20)
- フック過巻防止装置(補巻、サード用)
- スライドハンマ
- ワイヤテンション掛け治具



- 本カタログに掲載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本機の取り扱いに際しては、事前に取扱説明書を熟読し、その注意事項を必ずお守りください。
- お客様による本機の改造、他機器・機材の付加については必ず弊社にご相談ください。
- 本機の運転は車両系建設機械(基礎工事用)の運転技能講習を終了した者でなければなりません。
- つり上げ荷重 5ton以上の移動式クレーンの運転には「移動式クレーン運転免許証」が必要です。



※オプション装備機

製造・販売元

# 日本車輛製造株式会社

機電本部 <http://www.n-sharyo.co.jp/>

■本部/鳴海製作所	〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地	TEL(052)623-3311 FAX(052)623-4349
■営業総括部/営業グループ	〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地	TEL(052)623-3312 FAX(052)623-4349
■営業総括部/海外部	〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地	TEL(052)623-3529 FAX(052)623-4349
■札幌グループ	〒004-0802 札幌市清田区里塚二条六丁目5番60号	TEL(011)887-5080 FAX(011)887-5081
■北日本グループ	〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8番1号 斎喜センタービル6階	TEL(022)288-2530 FAX(022)288-2534
■東日本グループ	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 丸の内中央ビル12階	TEL(03)6688-6808 FAX(03)6688-6813
■中部グループ	〒458-8502 名古屋市緑区鳴海町字柳長80番地	TEL(052)623-3314 FAX(052)623-3307
■大阪支店	〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目1番3号ノースゲートビル14階	TEL(06)6341-4455 FAX(06)6341-4487
■九州グループ	〒812-0879 福岡市博多区鏡天町二丁目2番28号 携保ジャパン日本興業福岡鏡天町ビル6階	TEL(092)572-7332 FAX(092)572-7484
■広島出張所	〒730-0022 広島市中区銀山町1番11号 フジスカイビル6階	TEL(082)545-5162 FAX(082)543-5231
■高知出張所	〒781-8105 高知市高須東町10番14号	TEL(088)884-0350 FAX(088)882-6483

## ■お取り扱い店